

令和3年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

教育目標 個性の確立 自立と共生 社会への貢献

山形県立高島高等学校

めざす学校像
 1 基礎・基本を大切に、学力向上に向けて教育活動の充実に努める学校
 2 人とのかかわりの中で、ことば・心・行動を大切にする生徒を育てる学校
 3 多様な見方と総合力を重視し、SDGs教育に学校全体で取り組む学校
 4 保護者・地域との連携を密にし、地域に貢献できる学校

達成度
 A: 達成
 B: 概ね達成
 C: やや不十分
 D: 不十分

めざす生徒像 地域を愛し、自他の未来を切り拓く生徒

自 己 評 価				達成度	達成状況(○)と課題(△)	学校関係者評価 (意見・要望・評価等)	総括 (改善点)
重点目標 (評価項目)	具体的な取組目標や主な方策						
1 学習指導の充実 と学力向上	(1)	主体的・対話的で深い学びを実現する授業の充実と観点別評価の推進	B	○各教科の研究や実践の成果により、生徒による授業評価で高い肯定的評価が得られた。 ○Google Classroom活用、オンライン学習に向けた環境整備を行った。 △授業での図書館活用が増えた。さらに、読書への興味を引き出す工夫も必要である。	・コロナ渦にあっても「学びを止めない」取組みを大切にしていると心強く思う。 ・新学習指導要領で求められる「生徒が学ぶ」を大切にしたい。	○ 学習指導 ・オンライン学習を含めた教員の指導力向上のための研修を次年度も継続して行う。	
	(2)	科目の目標に即した基礎基本の習得と個に応じた学習支援の徹底					
	(3)	図書館の積極的活用と探究型学習の深化					
2 自己実現に向けた明確な進路意識の育成と深化	(1)	ガイダンス機能の充実と個に応じた進路情報の提供	B	○入試制度、調査書、就職試験1カ月延長などの大きな変化に柔軟に対応できた。 ○コロナ渦であったが、1・2年次生のインターシップ、農業・ボランティア体験を実施した。研修旅行など一部内容を変更した。 △模擬試験のあり方を検討する必要がある。	・幅広い分野で活躍されている方々の講話に触れる機会を多く取り入れており、有意義である。 ・コロナ禍で、多様な体験的学習が制約を受けたが、人との交流により得られるものは大きい。	○ 進路指導 ・インターシップや農業体験などの体験活動の工夫しながら実施する。 ・模擬試験のあり方を検討する。	
	(2)	キャリア教育実践プログラムを通じた社会で自立できる力の育成					
	(3)	進路実現に向けた全教職員による指導体制の充実					
3 健やかな体と思いやりの心、豊かな人間性の育成	(1)	授業や校内外の諸活動を通じた「いのちの教育」の推進	B	○「いのちの教育」は多方面の専門職の協力のもと順調に実施できた。 ○コロナ禍の中、クラスマッチや学園祭等の行事を、生徒の創意工夫で成功させた。 △定期健診後の未受診者の受診率の向上に向け、定期的な受診の促しが必要である。	・コロナ渦において、個を大切にしたい指導を厚く行ったことに対し、保護者の評価が得られている。 ・相談活動、生徒指導についての項目がポイント向上が見られたことは評価したい。	○ 生徒指導 ・ボランティア体験や地域活動等、生徒が活躍できる場を模索し、生徒主体で取り組ませたい。	
	(2)	内面理解に重きを置いた生徒指導の充実と組織的対応の強化					
	(3)	自主的・自律的な生徒会運営と部活動・ボランティア活動等の推進					
4 総合学科としての教育内容の充実と総合力の育成	(1)	地域の教育力を活用した教科横断的な教育の実践	C	○Zoom等オンラインを使って、オーストラリア姉妹校シングルトンハイスクールや県外高校との交流に取組み、成果を得た。 △本校への志願者の定員割れが続いている。中学生に総合学科の教育内容の魅力アピールする必要がある。	・身につけたい「4つの力」等、総合学科としの特徴を全面的に出し「生きる力」をつけさせたい。 ・生徒一人一人の意欲や個性を損なうことなく、つなげていくことに努めていただきたい。	○ その他 ・コロナ感染防止を徹底する。 ・引き続き、学校全体でSDGs教育を推進したい。	
	(2)	国際交流事業等の充実と異文化理解教育の推進					
	(3)	目標に到達するための総合力と課題解決力の育成					
5 保護者や地域社会との連携と学校情報の適切な発信	(1)	生徒や保護者による授業評価・学校評価を活用した教育活動の改善	B	○新教育課程の内容が理解しやすいように、学校案内パンフレットをリニューアルした。 ○地域行事(ボランティア活動を含む)の参加が制限されたが、参加できるところは参加できた。 △保護者や地域の方々等の外部の方に、学校の教育活動を見てもらう機会少なくなっており、情報発信の在り方に工夫が必要である。	・情報発信を積極的に行い、総合学科の内容などを広く伝えてほしい。 ・コロナ対応で、学校関係者に陽性者が出た時、隠すことなくメールで連絡いただき、信頼性が高まった。		
	(2)	地域行事等への積極的な参加や協力による地域貢献					
	(3)	学校HP等各種広報活動の充実と危機管理に関する情報の共有					
	(4)	安心・安全な教育環境の整備					